

福島第一 1～4号機取水口内、2～3号機スクリーン 海水核種分析結果

別紙

(データ集約：6/12)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		福島第一 2号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		福島第一 3号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成23年5月16日	平成23年5月16日	平成23年5月16日	平成23年5月16日	平成23年5月16日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	3,600	90	77,000	1900	5,800	150	40
Cs-134 (約2年)	16,000	270	18,000	300	62,000	1000	60
Cs-137 (約30年)	17,000	190	19,000	210	66,000	730	90
Sr-89 (約51日)	7,700	26	20,000	67	24,000	80	300
Sr-90 (約29年)	1,600	53	5,100	170	7,300	240	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、5月17日公表。

分析機関：日本分析センター(Sr-89, 90)、東京電力(I-131, Cs-134, Cs-137)

(評価)

Sr-89, 90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。